



青谷上寺地遺跡 2019
発掘調査研究年報

AOYA-KAMIJICHI2019



1 第18次発掘調査区と日本海(南から)



2 第18次発掘調査区第2面(古墳時代前期前葉)検出状況(南東から)



3 第18次発掘調査区出土土器



4 93土器溜り出土柄頭状骨角器

青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報 2019

目次

巻頭図版

I 青谷上寺地遺跡第18次発掘調査概要報告	1
門脇隆志・大野哲二	
II 青谷上寺地遺跡から発掘された出土米ブロックに含まれる 糊の外部形態のX線CT計測による評価	13
稲村達也・中尾雅晴・濱田竜彦・絹島 歩・岡田憲一	
III 講演・トークセッション 『青谷びとが描いた世界～青谷上寺地遺跡と青谷横木遺跡～』の記録	21
齋藤亜矢・三浦努・北浦弘人	
IV 青谷上寺地遺跡出土人骨の炭素・窒素同位体と放射性炭素年代	45
米田穰・井上貴央	

例言

- 1 本書は令和元年度までに実施した調査研究等の報告である。
- 2 IIは平成28年度に奈良県立橿原考古学研究所の依頼により鳥取県埋蔵文化財センターが資料を提供した青谷上寺地遺跡出土米ブロックのX線CTスキャン計測の成果である。
- 3 IIIは平成29年11月25日(土)に開催した、平成29年度第4回とっとり弥生の王国青谷かみじち遺跡土曜講座の記録である。
- 4 本書の編集は門脇隆志(とっとり弥生の王国推進課 青谷上寺地遺跡整備室)が担当した。

※ 表紙写真 青谷上寺地遺跡第18次発掘調査区東西トレンチ断面(北西から)